

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

神戸医療福祉大学 実施報告書



実施主体 生活医療福祉学科児童福祉コース 3・4年生有志
実施内容 平成25年10月26日～27日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

有志学生でオレンジリボンのポスターを作成し、一言メッセージを添えて、ゼミ室前に掲示した。
実施日に使用するアンケート調査の質問用紙と、プラカードの作成を行った。
学園祭関係者には、事前にオレンジリボンを配り、左胸につけてPRして頂いた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

オレンジリボン、缶バッジ、しおりを配布し、リボンを洋服につけて頂くように声かけ運動を行った。
児童虐待に関するアンケート収集を行い、118人の方にご協力をいただいた。
オレンジ色のジャンパーを着用し、プラカードを持つなど、視覚的なPRも心がけた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

アンケートを実施するにあたり、快く受け入れてくださる方と、そうでない方の二通りがあることを知りました。児童虐待のアンケートという内容に抵抗を感じられたのかもしれませんが、人に何かを頼むこと、理解をして頂くことは難しいことでした。しかしながら、アンケートには118人の方々からご協力を頂くことができ、心から感謝しています。アンケート結果より、オレンジリボンは乳がんやエイズのリボンに比べ、認知度が低いことがわかりました。また、身体虐待に関する認知度は高かったものの、虐待の種類や躰と虐待の境界線に関しては理解が曖昧で、「自分が子どもに対して行っている行為が虐待か躰かわからない」という意見もあり、虐待の内容についても理解して頂けるような活動の工夫が必要だと実感しました。



HPアドレス <http://www.kinwu.ac.jp/>